

令和6年3月19日(火) 松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨  
平地区(西原、借馬、仁科郷、木崎、白樺、塩ノ原、外堀、山崎、森)

○質問1

木崎湖以北の現道活用のイメージがわからない。部分的に側道がつくのか？道路に面している人はどのように入るのか。

●回答1 (大町建設事務所)

旅行速度が概ね60km/h確保できている区間については、基本的には使える現道を使い、部分改良等で対応をしていきたいと考えている。信号についても、全てを無くすわけではなく、おおむね60km/hが確保できれば残す場合もある。今後、各種調査により課題を整理し、整備方針が決まり次第速やかに示していきたい。

○質問2

松糸ができると大町を素通りする人が増えると思う。

●回答2 (大町建設事務所)

松本から糸魚川までを結び高速交通ネットワークの空白地帯を解消することが目的。大町が素通りにならないよう、現時点では4箇所のインターチェンジを予定している。大町市とも連携し、まちづくり、道の駅の新設等、道路を利用し大町に寄ってもらえるよう意見交換が必要と考えている。

○質問3

木崎で渋滞をするのではないか。

●回答3 (大町建設事務所)

通過車両は松糸道路に乗り、生活道路はオリンピック道路となると思われる。今後、木崎湖以北を検討していく中で合わせて検討していきたい。

○質問4

高齢者が多い中、本線合流に大町市民は対応できるのか。低速車を無理に追い越す人がいるのではないか。オリンピック道路の改良でよいのではないか。

●回答4 (大町建設事務所)

合流についてはスムーズに行えるよう道路構造で対応していきたい。運転の仕方については警察とも連携し対応することも可能である。

基本的には片側1車線で考えているが、必要に応じて追い越し車線を検討していく必要があると思っている。

オリンピック道路の改良のみでは地域高規格道路の規格は満たせないため新設の道路が必要と考えている。

○質問5

盛土の道は地震で割れるためやめたほうがいい。

●回答5（大町建設事務所）

盛土について、締固め基準変更後に作られたものについては能登地震でも非常に軽微な損傷で済んでいる。橋梁も阪神淡路大震災後に変わった基準で作られたものは軽微な損傷となっている。

○質問6

どれくらいの規模の反対があれば中止するのか。住民投票はしないのか。

●回答6（大町建設事務所）

今の段階で中止することは考えていない。市民、地域の総論は賛成だと捉えている。今後、地域の総論が反対となれば続けていくことはできないと考えている。

住民投票については行うつもりはない。

○質問7

この地域にはどうやってお知らせをしているのか。来てない人もいる説明会ではなく地域全員に説明してほしい。

●回答7（大町建設事務所）

地区へ配布のほか HP でも広報している。今回はルート帯を地区の皆様説明する機会として開催している。計画、用地などの際には地区に入っていく説明を進めていき、個別相談会も検討していく。

○質問8

賛成意見を聞いたことが無いがいるのか。

●回答8（大町建設事務所）

11月のルート帯発表前の説明会では、ほとんどが賛成意見であった。

○質問9

以前、市議会議員が450人程度の早期実現というアンケートを提出し、その後市民団体が2,000名ほどの反対署名を提出している。数についてどう受け止めているのか。

●回答9（大町建設事務所）

反対の署名は1,300名だったと認識している。反対署名があることは承知している。公共事業については、多数決のような方法で決めることではないと考えている。

なお、今後の手続きにおいて都市計画決定というものがあり、これは道路として必要な施設であるということを都市計画法で定めるものである。都市計画決定を行う際には、都市計画審議会での審議が必要となる。審議会は第三者の委員が採決を行うため、審議会でも反対意

見を述べることも可能である。

○質問 10

市の住民投票条例で住民投票を行わないのか。

●回答 10 (大町市)

公共事業は住民投票では決まらない。県の事業を大町市の条例で住民投票を行うことはない。

○質問 11

静かで景色がいいところで子育てがしたくて土地を買った。道路を作る必要はないと考えている。

●回答 11 (大町建設事務所)

道路自体は必要であると考えている。盛土にするかどうかは、今後、設計を進めていく中で検討していきたい。

○質問 12

新しい道路ができればオリンピック道路の交通量は低下する。多くの店がつぶれるのではないか。6分短縮は9年前に道路ができていた場合の話であり、将来的には道はスムーズになっているであろう。市街地は新設だが木崎湖以北は信号があってもよいとはどうしてか。計画を見直してほしい。

市の職員が以前「土地を売りたい人がいる」が言ったが、そんな目的のためにつくってどうするのか。総論賛成ですといってもなにを根拠に言っているのか。

●回答 12 (大町建設事務所)

松本～糸魚川まで定時制が高い道路が必要ということで進めている事業であり、賛成が多いから、反対が多いから、土地を売りたい人がいるからといったことで進めている事業ではない。今は速度低下が著しい大町市街地区間での計画を進めているところであり、木崎湖以北については信号を残すかも決まっておらず、今後、各種調査を進めていきたい。

○質問 13

高規格道路大賛成。計画ができたときから、「命の道」として1日も早く作ってほしいと今日まで進めてきた。説明会に来ている人が少ないという反対者の意見があったが、そもそも強制ではない。聞きたい人が来る会である。

元旦の能登半島地震のとき、道路が寸断されたため救助ができなかった状況が長く続いた。予算もあるから限りはあるが、道路は複数あったほうが良いと考えている。

道路がよくなれば定住人口も増える。交通の便が悪く定住を躊躇している知り合いもいる。この地域には道路が必要。県の事業を進めていることを大町の中で反対討論する問題で

はなく、できるだけ早く進めてほしい。

●回答 13 (大町建設事務所)

県でも能登半島の地震で、災害時の道路の重要性を再認識し、緊急輸送路を見直しているところである。計画をしっかりと進めていきたい。

○質問 14

道路はネットワークだと思う。大町の人口が減ろうが松糸は必要だと思う。高山市でも中部縦貫道路が進んでいた。反対意見もあったがなくてはならない道ということで進んだと聞いた。今後も反対意見はあるかもしれないが、きちんと説明し進めてほしい。

堤防道路についてもどんどん進めてほしい。いろいろな意見があるのは当然であるが、1年でも早く進めてほしい。

●回答 14 (大町建設事務所)

景色にも多少影響はあり、土地も事業用地として取得させていただくことになるが、それに見合った道路の計画を進めていきたい。

市街地区間南の高瀬川右岸堤防道路についても、順次説明を行っていきたい。

○質問 15

インターチェンジの側道の長さの距離はどのくらいになるのか。下に信号ができたとして、車が多く連なったとしても足りるのか。

●回答 15 (大町建設事務所)

盛土の高さによってもアプローチの長さが変わるため一概には言えないが、例えば高さ5mで5%の勾配であればおおよそ100m程度のアプローチになる。信号ができてもしっかりよう、交通量推計を行い設計していく。

○質問 16

インターチェンジ部は横断的にどのような幅になるのか。また、遮音壁を設けた場合の高さはどれくらいになるのか。

●回答 16 (大町建設事務所)

インターチェンジ部は4車線分程度になると思われる。

遮音壁には色々なタイプがあるが、フォトモンタージュで示しているものは高さ2mのものである。景観への影響を考慮し、透明にすることも検討していきたい。

○質問 17

道路ができたあと旧道は市が管理していく場合もあるかと思う。人口が減る中、大町市の財政で管理できていけると考えているのか。

●回答 17 (大町市)

現在、オリンピック道路は3,000万円/年くらいかけて舗装修繕をしている。松糸ができて交通量が減ると修繕頻度も減るため半額以下になることも可能であると考えている。大町市は市道全延長で860kmあり年2～3億円掛かっているが、公道の廃止も検討していく必要があると考えている。

○質問 18

完成時期をおおよそでも示してほしい。

●回答 18（大町建設事務所）

用地取得や予算の関係もあるため完成時期を示すことはできない。

希望では5年以内に用地買収に入っていけるように頑張って取り組んでいきたい。更に、10年以内ぐらいには工事着手ができればと考えている。